

「自然を守る活動」始めませんか

市では、水辺や里山の保全や居住地域の緑化を図り、暮らしの中で自然と触れ合える



▲支給した丸太で造った階段

施策を推進しています。その一環として、協働作業による自然環境の保全活動を実施しています。

対象者 市民、市内の事業者

支援内容 環境保全活動などを行う際に必要な原材料の一部を支給したり、重機の借上げを支援します。

支援事例

- ◎ 地域で管理する花壇や遊歩道などが、雨や雪、老朽化により破損した際の補修
- ◎ 自然環境に親しみやすくす

るための水辺や里山など、住民の憩いの場の整備

- ◎ ぬかるんで歩きにくい遊歩道への木製チップ敷き詰め
- ◎ 野鳥やホタルなどの飛び交う自然を取り戻すため、協働作業による自然環境回復
- ◎ 人力では困難な作業に対する重機の借り上げ

※公益的な活動を対象とし、特定の個人や事業者の利益を目的にしたものは対象外です。予算がなくなり次第受け付けを終了します。

問い合わせ先
市役所環境課環境係
☎(22)2111 (内線247)

消費生活相談

消費者トラブルと解決法【第9回】

『クレジットカードの現金化』

【事例：買取屋方式】
クレジットカードを使って、50万円で指輪を購入後、同じ業者に40万円で買い取ってもらう。後日、クレジットカード会社から指輪の購入代金50万円を請求される。



一時的に40万円の現金を手にする代わりに、結局はクレジットカード会社に50万円の債務を負うことになってしまった。

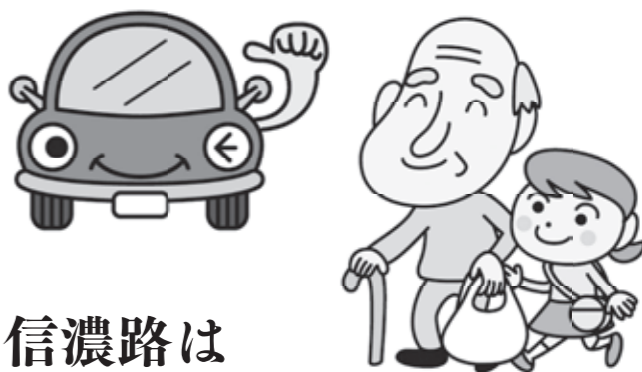
【解決方法】

クレジットカード会社は、このようなカードの使い方を認めていません。また、カードが利用停止になる恐れがあります。

このようなカードの使い方をした場合は、早急に下記までご相談ください。

問い合わせ先
市役所市民課生活交通安全係
☎(22)2111 (内線238)
長野県長野消費生活センター
☎026(223)6777

5月11日(水)～20日(金) 春の全国交通安全運動



信濃路は
ゆとりの笑顔と
ゆずりあい

交通事故をなくしましょう。

【運動の重点】

- ◆子どもと高齢者の交通事故防止を基本として
- ◆すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ◆自転車の安全利用の推進
- ◆飲酒運転の根絶
- ◆生活道路における交通事故の防止

問い合わせ先
市役所市民課生活交通安全係
☎(22)2111 (内線238)

「農産物直売所・観光農園」 のお立ち寄り情報が満載！

▶パンフレット(見本)



平成23年度版「信州中野お立ち寄り情報」パンフレットを作成しました。

パンフレットには、新鮮で安心・安全な旬の野菜や果物を手ごろにお買い求めいただける農産物直売所をはじめ、食べごろの果物をその場でお召し上がりいただける観光農園の一覧表が、イラストマップと合わせてわかりやすく表示してあります。

このほか、市内で生産されているキノコや果物などの特産品、温泉施設なども掲載しており、お立ち寄り情報が満載です。

このパンフレットは、最寄りの公共施設・観光案内所・コンビニエンスストア・ガソリンスタンドなどに設置してありますので、ぜひご利用ください。

問い合わせ先
市役所売れる農業推進室推進係
☎(22)2111 (内線381)

「売れ農」情報局



首都圏で農産物の トップセールスを実施！

市では、4月8日(金)、青果物の需要期に先立ち、中野市産農産物の大口需要者である首都圏の主要取引先に対して取引のさらなる拡大を要請するため、市、市

議会およびJA中野市の代表者によるトップセールスを実施しました。

懇談の中で、市場関係者からは、震災の影響による市場の混乱や、消費の落ち込みなどの現状を聞くことができました。

また、JA中野市が2月に発売を開始した「えのき氷」が話題となり、市場関係者は強い関心を示していました。今回のトップセールスは、農家の収入を少しでも増やしたいという生産地の強い思いを取り先に対して伝えること



▲市場関係者との懇談会

もに、農産物をはじめ、サクラソバ狩り、バラまつりなど、観光面を含めた本市の総合的なPRをする良い機会となりました。



「2111」は 電話医療相談所です

Q 放射線の人体への影響が心配です。野菜や魚を食べても大丈夫ですか。胸のレントゲンの検査をしてもいいですか。

A 私たちは、普段の生活の中でも日常的に放射線を浴びています。1年間に浴びる自然放射線量の平均は一人当たり2400マイクロシーベルトという報告があります。

野菜、魚などの食品について、現時点で出荷制限されていないものは、通常の摂取で健康には影響がありません。風評被害に惑わされないようにしましょう。

また、胸のレントゲン検査で浴びる放射線量は1回につき50マイクロシーベルト、胃のレントゲン検査では、1回につき600マイクロシーベルトです。人体に影響のある量ではありません。病気の早期発見のため、レントゲン検査などの定期検診を受けましょう。

なお、現在特別な対応は必要ありませんが、必要な場合は、市から情報を速やかにお知らせしますので、その際は落ち着いて対応をお願いいたします。

放射線に関する相談窓口
○文部科学省：放射線および放射線影響に関する相談窓口・健康相談ホットライン
☎0120-755-1199

○長野県：東北地方太平洋沖地震放射線相談電話(午前8時30分～午後5時15分)
☎026-235-7418

問い合わせ先
市役所健康づくり課健康管理係
☎(22)2111 (内線242)
北信総合病院医療安全管理室
☎(22)2151 (内線5522)

電話医療相談所 ☎0300
午前8時30分から午後10時まで
土曜日・日曜日・祝日・12月30日～1月3日は除く
医療に関する相談に電話でお答えします